信長探訪倶楽部６月行事
松平元康が兵糧入れをした大高城と「桶狭間の戦い」跡訪問！

６月の行事は、「桶狭間の戦い」と題して意見交換を行い、それをベースに現地確認として、松平元康が今川義元の命により兵糧入れを行った大高城と、織田信長が世に出るきっかけとなった有名な「桶狭間の戦い」跡を訪れた。

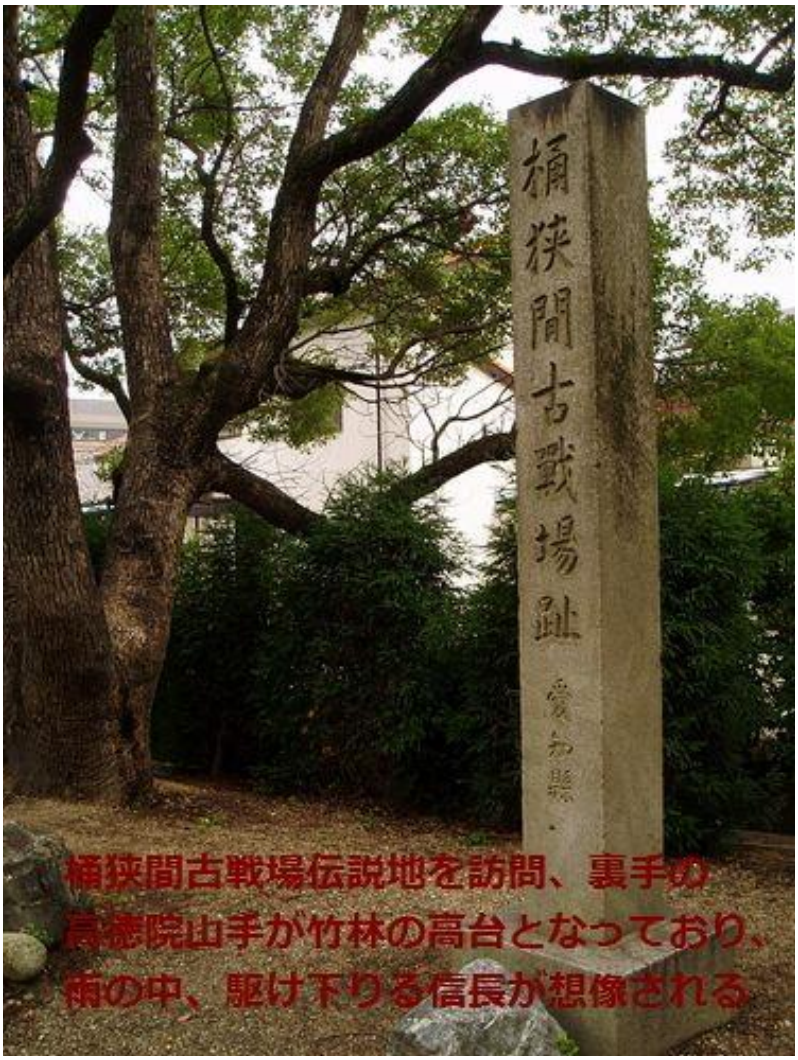
京を目指したといわれる今川義元の尾張攻めは、まず今川方の大高城、鳴海城を囲む織田方の砦の攻略から始まり、これにより兵力の分散した義元本陣に信長が兵力を集中して、義元を打ち取ったといわれている。

７月の行事は、三河を治めた徳川家康と同盟、東の安全を確保、いよいよ美濃攻めのため、小牧山に移転、築城することになることから、「小牧山築城」と題して居城の移転というこの行為について意見交換を行い、続いて現地確認を行う。この際、美濃攻略のためには犬山側からの美濃侵入も必要となることから、犬山城も見学する

松平元康が兵糧を運び入れた大高城跡

大高城史跡を説明する案内板

大高城跡は何もない広場となっているが、城の周りは急峻な崖となっており、往時が偲ばれる



桶狭間古戦場伝説地を訪問、裏手の
高徳院山手が竹林の高台となっており、
雨の中、駆け下りる信長が想像される

伝説地の説明板前にて

伝説地から移動して桶狭間古戦場公園に到着
この地で今川義元、討ち死にと伝わる
織田信長、今川義元の像が並立している